



No.150 2020. 7

発行 真言宗豊山派
北田山寶泉寺
所沢市北岩岡130
編集 色摩真了
ホームページアドレス
takaranoizumi.com

新型コロナウイルス

新しい生活様式について考える。

新型コロナウイルスが世界中でまん延し始めてから約5ヶ月がたちました。各国では様々な対策がとられ、また各人の自粛によって一時期は収束に向かったものの、これを書いている6月末時点で再び感染が広がっています。

そのような状況のなか、いま「新しい生活様式」つまり、密閉・密集・密接という「三密」を避け、手指や器物の消毒とマスクの着用を徹底するということが定着しつつあります。

新型コロナウイルスと、「新しい生活様式」は様々な面で私たちの生活を変えました。あらゆる店舗でお客様とスタッフの間に透明の壁が設置され、レジ前には客同士の距離を空けるよう目印が記されました。飲食店やライブハウス、トレーニングジムなどは長い期間、休業せざるを得ず、子どもたちは学ぶ機会を制限され、盆踊りなど地域の行事も中止が相次いでいます。

お寺の活動にも多くの影響がでました。まず、お葬式やご法事では大人数で集まることができなくなりました。特にご葬儀では、最後を見送ることのできなかつた悔しさを多くのご遺族から伺いました。

毎月2回、定例で行っている写経の会とご詠歌の集いも中止となりましたし、例年5月末に営まれる大般若転読会も檀信徒のご参列がかないませんでした。

このようにマイナス面ばかりが目立つ「新しい生活様式」ですが（相手がウイルスなので当たり前ですね）、一方でこれから期待できるようなことも見えてきました。

私の妻は、早朝から満員電車でゆられ都心まで出勤していました。現在は仕事の大半を、インターネットを用い自宅で行えるようになりました。このように、就労時間と通勤時間が世界一長いといわれている日本の勤労形態が今後改善されるかもしれません。

学校では、一時期行われた生徒の少人数分散化が、先生や親から好評を得、また行事や部活動の見直しなどが進んでいます（現在6、7割の教員が過労死水準に達している現状の変革につながるかもしれません）。

また、寺院の一部では、様々な行事、ご葬儀や法事をオンラインで配信する試みが始まっています。法事などの儀式は、親類縁者の絆を強くするという大切な面もあるので、集まれるに越したことはありません。それでも遠方のご親戚や外出できない方にその様子を届けられるという点では、新たな可能性を感じさせます。そうそう、自粛生活のなかで、お寺に散歩に来られる方が増えたことも小さな喜びでした。

いずれにしても、私たちはこのコロナ禍を乗り越えたときに、良い意味での変化をしていなければなりません。**その良い意味での変化こそが真の「新しい生活様式」**といえるのではないのでしょうか。（真了）

大般若転読会をYouTubeで配信しています!!

今年の大般若会は最小限のメンバーで営まれました。法要の様子を編集し、解説付きでYouTubeにアップしましたのでご覧ください。お坊さんがお揃いの手作りマスクをつけています！



「北田山寶泉寺」と検索してください。タカラの字は「寶」ではなく「寶」です。

塀と駐車場の工事が終わりました!!



無事、塀と駐車場の工事が終わりました。皆さまにはご迷惑をおかけしました。今後は大師堂前でなく、こちらにお停めください。なお、出入り口が本堂寄りに移動しましたのでご注意ください。

三密とは○○○

新型コロナの感染を防ぐ要素として密閉、密集、密接の三密が盛んにいわれています。どなたが唱えられたのかはわかりませんが、この言葉のもととは密教教理の根本といえるものの一つです。仏教の究極的な目標は「仏になる、成仏する」ことですがここに至るには多くの論や説が存在しています。密教では生命現象は身(しん)、口(く)、意(い)の三つの働きで成り立っていると説き、人間の思考では計り知れないものであり心中の密(ひそや)かなるものであることから密教といいます。そしてここでは大きな要素として三密をあげています。すなわち

- ・身密(体) 体、行動
- ・口密(言葉) 言葉、発言
- ・意密(心) ところ、考え

の三つです。この三要素が無数、無限に関連し合う三密の修行によって大日如来を感得することが、真言密教による成仏観です。

ところで新型コロナをめぐる三密が言われ始めた頃から両者の対比を思っており、無謀を承知でコロナ禍における行動規範めいたことを考えてみました。

身密：勝手な行動を慎み、相手を想い常に自分の行動を見直す。

手洗いやマスク、咳エチケットなどを実践する。

口密：自らの言動を意識し、フェイクニュースや妄言、人をおとしめるような批難や中傷などはしない。対面しての言動だけでなくもちろんSNSなどのインターネットツールなども含めてのことです。

意密：自分の心の揺れを洞察する。特に悲観的なニュースやデマ、そして誤った情報などには心を騒さわがせ不安を増長させます。科学的な知見に目を向け、正しい理解に努め心を惑わされないことです。

新型コロナの世界的流行で、人類は初めての場面にたち「新しい生活様式」が言われ始めました。あらゆる生活に変容を求められるのも必然だと思えます。自粛警察、さらにマスク警察とまでいわれるようになり、お互いがいがみ合うような事態は三密の規範からは外れているといわざるを得ません。新しい生活様式は時間をかけてみんなが納得いく形に軟着陸できればと願うばかりです。

お盆合同法要

お坊さんが檀徒各戸の盆棚でお経をお唱えするのを棚経といい、古くからのお盆の営みでした。それに替わって寶泉寺では、本堂でお盆に帰られたご先祖様のための合同法要を行っております。どうぞお迎えの際にお気軽にご参加下さい。

日時 8月13日(火)

午後3時45分 お盆のお話

午後4時 法要開始

会場 寶泉寺本堂

集合 「るり洞」

新盆の方は2時開始
となります

盆供・施餓鬼会

昨年より盆供の申し受け期間変更3年目です。施餓鬼会も余裕を持って迎えられるようになりました。盆供、施餓鬼塔婆のお申込みはぜひぜひ 7月21日(火) から 7月末日(金) までの期間中にご持参をお願い致します。

施餓鬼会は別紙ご案内の通り、コロナウイルス感染防止のため大きな変更がありますのでどうぞご承知願います。

墓地清掃後の花柄や草、剪定枝などはゴミカゴへ、古いお塔婆は大師堂裏の塔婆置き場へお願い致します。可燃ゴミ類は軽トラック荷台へも結構です。

なお、お盆の後の竹などを含むお供物類は庫裡北側の毎年設置します保管場所へお願い致します。市の「クリーンセンター」に処分をお願いしておりますので、その際は可燃、破碎、不燃などご家庭での普段通りの分別をしていただくとうれしく思います。

編集後記

- ・寶泉寺雑木林保全作業は10名の方からの応援をいただいて進められた。林の奥の方まで見通せて気持ちがいい、来春も是非お願いしたいと思っている。いずれは皆さんに足を踏み入れていただけるような散策路も考えている。
- ・コロナ自粛は塀の工事と重なり在山(お寺の中にあること)することが多く自粛の感覚もなく過ぎていった気がする。しかし今となると見たい映画もあればほしいなどと思っているも品の現物を見たい。それとグループの集まりも

できないでいるが、このところの感染者数の増加でそれもままならない。

- ・皆様にお配りしている宗派発行の「光明、お盆号」はコロナ禍緊急事態発出で休刊になった。一方「るり光」は超ミニコミなので影響なし、いつの間にか150号を迎えた。年4回、手にしたらその場で読みきれぬボリューム、休刊はしないを2大モットーとしてきた。昭和58年3月以来37年、ほぼ小僧(しょうそう)晋山以来の歴史が込められている。
Jun. 1. 2020 (琴)